

岩手町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>救急医療体制を支える道路ネットワークの整備について            国道281号を利用している岩手町及び葛巻町は、救急医療体制の構築が課題となっており、効率的に機能させる道路ネットワークの整備が必要となっています。            特に緊急医療の中核を担う岩手医科大学付属病院は、矢巾町に移転が決定しており、盛岡広域圏北部では救急搬送時間の増大が懸念されています。            県内で指定されている地域高規格道路は、宮古盛岡横断道路、三陸北縦貫道路、盛岡秋田道路、開運橋飯岡道路（候補予定）の4路線となっておりますが、県北地域における救急医療機関への搬送時間の短縮を図るため、国道281号岩手町・葛巻町間の地域高規格道路並みの抜本的改良整備を強く要望します。</p>	<p>国道281号については、沿岸地域と内陸地域を結ぶ物流や産業振興を支える重要な幹線道路であり、「復興道路」と一体となって機能する「復興支援道路」に位置付けて、各地区における交通あい路の解消を図っていくこととしています。</p>	盛岡広域振興局	岩手土木センター	C：1
<p>主要地方道岩手平舘線における歩行者の安全確保について            主要地方道岩手平舘線は、岩手町沼宮内地区の中心部を通り、沿線には住宅、商店、小学校、病院等が密集しており、町民にとっては通勤、通学、通院、買い物等日常生活には欠かせない重要な路線として利用されています。            大町地区から新町地区の一部区間については、街路整備事業による車道の拡幅と歩道の整備により歩行者の安全が確保されましたが、それ以外の城山、新町、野口町、愛宕下地区には歩道が整備されていないため、児童生徒は危険な状況で通学している状況となっております。            平成19年には野口町地区で小学生の死亡事故が発生し、これを受けて平成21年度から歩行環境改善のため道路側溝の入替えによる段差解消及び老朽化した側溝蓋の取り替えを行っていただき、一部区間は改善されましたが、それ以外の区間につきましては、改善されない状況となっております。            平成26年度に実施した通学路緊急合同点検において、当該地区は要対策箇所位置付けられておりますが、その対策は講じられておらず、歩行者にとっては危険な状況が続いております。            また、平成19年度の街路整備事業（大町地区）により流雪溝を設置しておりますが、流量不足により毎年雪が詰まり、その対応に苦慮している状況となっており、流雪溝に詰まった雪を除去する作業中に、作業員が流されかける事案が発生しております。            つきましては、当該歩道が整備されていない区間の安全対策及び流雪溝の流量確保の対策を講じられるよう要望します。</p>	<p>歩道が整備されていない区間（城山、新町、野口町、愛宕下地区）の歩行者の安全対策については、貴町教育委員会主催の合同点検の結果等を踏まえ、貴町や関係機関と連携しながら、検討していきます。            なお、当面の対策として区画線による歩行空間の確保や注意看板の設置を今年度実施し、歩行者の安全性向上に繋げていきます。（C）            流雪溝の流量確保については、引き続き貴町から地域住民に、適切な流雪溝の使用ルールについて御理解・御協力いただくよう、御指導をお願いします。（C）</p>	盛岡広域振興局	岩手土木センター	C：2

岩手町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>岩手県立中央病院附属沼宮内地域診療センターの休止病床の再開について</p> <p>岩手県立沼宮内病院は、開設以来、長年にわたり地域医療の重要な拠点として、多大な貢献を果たしてきた。しかし、平成23年度に地域診療センター移行後、町内の入院施設が皆無に近い状況となり、地域住民の医療に対する不安が増大しています。</p> <p>さらに、平成31年度の開院を目指し計画、整備が進められている岩手医科大学附属病院の矢巾町移転が実現すれば、地理的条件等から患者はもとより、その家族にとっても入院や通院治療のための利便性が大きく損なわれることが懸念されます。</p> <p>このような中で本町は、当該地域診療センターの民間移管に関して、民間移管に意欲を示す法人の情報収集、情報発信を行うとともに、医療法人日新堂と協議を継続して参りましたが、医師、看護師、介護職員の確保が困難な事態が続き、その実現は極めて困難な状況であります。</p> <p>つきましては、本町においては、当初の目的達成に向け当該法人とより緊密に協議を続けるほか、新たな可能性の検討を行うことから、県におかれましても、盛岡広域圏北部における貴重な医療施設である岩手県立中央病院附属沼宮内地域診療センターを岩手県地域医療構想における回復期もしくは慢性期の医療機関に位置付けるなど、病床を存続もしくは復活に向けたご検討を早急にされるよう切に要望します。</p> <p>併せて、岩手県地域医療構想の実現に向けて構想区域ごとに設ける「協議の場」において、同診療センターの休止中の病床を廃止することのないよう強く要望します。</p>	<p>【医療局】</p> <p>沼宮内地域診療センターについては、危機的な医師不足の中、限られた医療資源のもとで良質な医療を提供するために病床を休止することとしたところですが、こうした状況については現在も変わらないものと認識しております。</p> <p>このため、病床を再開することは困難であり、「岩手県立病院等の経営計画〔2019-2024〕」では、現行の体制を基本として、県立病院等相互の役割分担と連携により、地域医療提供体制の確保を図ることとしております。</p> <p>なお、岩手町が進めている民間移管に向けた取組みや新たな検討を行う場合には、引き続き医療局としても、必要な支援等連携を図って参ります。(C)</p> <p>【保健福祉部】</p> <p>地域医療構想の推進にあたっては、県内9つの構想区域に設置した地域医療構想調整会議における関係者の協議に基づき、医療機関の自主的な取組を基本として、病床機能の分化と連携、在宅医療等の体制整備などに取り組むことで将来のあるべき医療提供体制を実現することを目指すこととしており、要望の内容も参考に、市町村も含めた地域医療構想調整会議での議論を進めていきます。(B)</p>	<p>盛岡広域振興局</p>	<p>経営企画部、保健福祉環境部</p>	<p>B : 1 C : 1</p>

岩手町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>テレビ共同受信施設の施設改修への財政支援制度の創設について            本町の山間部などテレビ電波の届きにくい地域では、テレビ放送を受信するために共同受信施設を整備し、組合組織として放送を受信してきました。地上デジタル放送への移行の際には、国等による施策を活用し、共同受信施設の新設や既存施設の改修などの対策を講じてきたところです。            しかし、既存施設ではデジタル放送を受信するための最小限の改修しか行っていないため、組合が保有するケーブルや柱などの施設は老朽化しており、早急に改修が必要な状況となっております。各組合でも施設改修等のため組合費による積み立て等を行ってきておりますが、大規模な改修については費用が高額であり、組合費のみでは実施することができない状況となっております。また、共同受信施設における電柱使用料などのランニングコストが組合の大きな負担となっております。            つきましては、テレビ共同受信施設の維持管理費及び老朽化に伴う大規模改修費に対する支援措置を講じることを国に働き掛けてくださいますよう要望します。</p>	<p>共聴施設の維持管理及び老朽化対策は重要な課題であり、これまで国に対し、全国知事会とも連携しながら、維持管理及び老朽化に伴う更新に対する支援制度の創設等について繰り返し要望しています。            今後も、市町村と連携し、県内の共聴施設の実情把握に努めるとともに、引き続き国に対し支援制度の創設等について要望していきます。</p>	盛岡広域振興局	経営企画部	B : 1
<p>農業水利施設保全合理化事業（用排水施設整備事業）予算の充実について            本町の新田用水路及び取水源である新田ため池は、明治時代に築造されて以来、農家や土地改良区の日常管理によって施設機能が維持されていますが、維持管理に多大な労力・経費を要しているほか、安全性の低下や事故の発生が危惧されております。このことから、地元から施設整備等の強い要望を受けており、今年度において新田・土川地区への用水確保のため、県営農業水利施設保全合理化事業（新田地区）による用水路の整備に係る一部工事、測量設計、用地買収補償を予定しているところであります。            今後引き続き、計画的な事業実施のため、農業農村整備事業予算の拡充を要望します。</p>	<p>県では、農業農村整備事業を、地域の農業振興に欠くことのできない事業と認識しており、様々な機会を捉えて国へ予算確保の要望を行ってきたところです。            県営農業水利施設保全合理化事業新田地区の平成30年度予算は対前年比106%の17百万円で、29年度補正と合わせた30年度の実執行予算は67百万円となっております。測量設計や用地買収等に加え、今年度から工事に本格着手しております。            計画的かつ円滑な整備を進めていけるよう貴町と一層の連携を図るとともに、今後も、農業農村整備事業の成果等を国へ強く訴えながら、事業の推進に必要な予算の確保に努めて参ります。</p>	盛岡広域振興局	農政部	B : 1